

分げつが出始めました。分げつ発生を促進する管理を！

**浅水管理と朝・夕の灌漑で分げつ発生を促進しましょう！
田ワキ対策のため、水交換や田干しを実施しましょう！**

5/13～16 が好天であったことから、活着はおおむね良好ですが、田植えが平年並からやや遅れ、田植え時の葉数が少ない（若い苗であった）ことから、葉齢展開が平年よりやや遅れています。

今後、分げつ発生を促進するため、浅水管理と水管理や田干し等の田ワキ対策を実施しましょう！！

1 5月30日現在の生育診断圃の生育状況

品種	年次	移植日	葉数(枚)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)
はえぬき 酒田市荻島	本年	5/13	2.1	20.5	110	4.4
	前年	5/13	2.5	21.3	85	4.5
	平年	5/10	2.6	24.7	118	5.2
	平年比	+3日	-0.5	83	93	-0.8
つや姫 酒田市漆曽根	本年	5/13	2.0	23.9	125	4.4
	前年	5/11	2.2	28.2	119	4.6
	平年	5/10	2.2	27.0	130	4.7
	平年比	+3日	-0.2	88	96	-0.3
雪若丸 酒田市前川	本年	5/12	2.4	17.4	144	4.6
	前年	5/8	3.0	20.5	129	5.3
	平年	5/9	2.8	19.0	145	5.3
	平年比	+3日	-0.4	92	99	-0.7

※葉色（SPAD）：今回調査は未測定

生育診断圃の生育は、草丈は短く、茎数は平年並～やや少ない、葉数は平年より少ない状況です。本格的な分げつ発生はこれからですが、一部株では2号分げつも確認できました。

2 今後の気象予報と水管理（分げつ発生促進・ワキ対策）

1か月予報（5月29日発表）によると、暖かい空気に覆われやすいため、全般に気温は高い予報です。

今後、葉齢展開に合わせて分げつが発生しますが、6月、1週目は曇りや雨の日が多い予報で、日照は少ないと予想されます。さらに深水管理では水温が高まりにくく、日較差もつきにくくなります。

早期の有効茎確保のため、右図のように、浅水管理を実施し、水温を高め、日較差を大きくして、分げつ発生を促進させましょう！

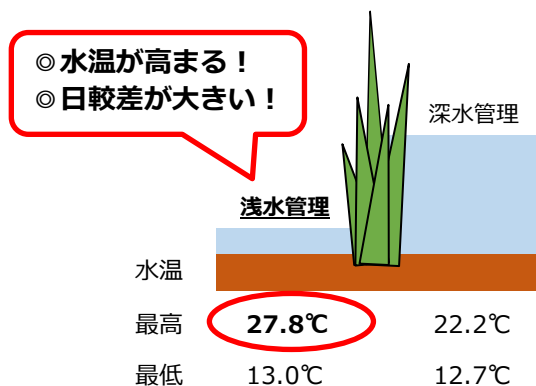


図 水田の水深・水温の関係（R6.5/25、鶴岡市内水田の調査結果）

※当日の気象：日照時間8時間、最高気温16.9℃、最低気温9.4℃

また、調査で圃場に入ると、アオミドロや表層剥離が多く、田ワキも強まっていました。田ワキの程度に応じて、水交換・夜間落水・田干しを実施し、根の健全化を図り、分けつ発生を促進しましょう！！



田ワキの程度に応じた対策

田ワキの程度		対策
水田に足を踏み込むと	気泡の発生が多い	水交換 夜間落水
	盛んに気泡が発生する	
晴天時自然に気泡が発生し、音が聞こえる		田干し

写真 1 田干しを実施している圃場（遊佐町内水田、5/30 撮影）

3 雑草対策

例年、高温により雑草の生育が早まり、除草剤の適用葉齢を過ぎてしまい、残草のある圃場が散見されます。除草剤を使用する場合は、必ず薬剤の使用時期や使用方法を確認し、手遅れになる前に適切に使用しましょう。

4 病害虫防除

＜葉いもち＞

田んぼに放置された取り置き苗は葉いもちの発生源となり、周囲の圃場にも伝染します。まだ補植苗が残っている圃場は早急に処分しましょう。

＜斑点米カメムシ類＞

病害虫防除所の発生予察情報では、斑点米カメムシ類の発生量は「やや多い」と予想されています。雑草での増殖抑制のため、畦畔・農道等の継続的な雑草対策と本田内の除草を徹底しましょう。



写真 2 問題となるカスミカメムシ類
左：アヒゲカメムシ、
右：アジカメムシ

スマートつや姫

「適期作業カレンダー」

使ってみましょう！！

- ◎実測値+約 1 か月先の気象予報を反映
- ◎「つや姫」「はえぬき」「雪若丸」は、葉齢を入力し、中干し開始時期（8 葉期頃）や出穂期、刈取適期などの時期を予測します。

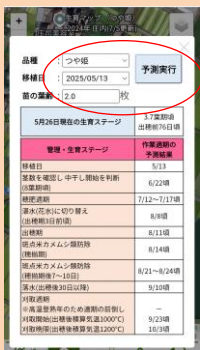


イネの生育、把握できていますか？
早速アクセスして使ってみましょう！

←HP こちらから



①圃場を選択し、「作業適期」をクリック



②品種・移植日・葉齢を入力 → 「予測実行」をクリック

酒田普及課

LINE

タイムリーに情報発信！



↑友だち追加 こちら

STOP ! 農作業事故
春季農作業事故防止運動強化期間 4 / 1 ~ 6 / 10